

「安全安心まちづくり」 協議会テーマの追加提案 2022・7・28

危機管理課長 村田博章様

委員 窪田新一(文町連)

ウクライナ戦争で世界中の人々が自国の安全保障の現状、あり方、戦争を他国から仕掛けられない抑止力は十分なのか？について考えを新たにしたのではないか。

よく言われるのが、相手国(仮想敵国)が自由主義国家か専制主義国家か、軍事費バランスは、同盟国が有るか、などを要素として戦争発生確率計算が可能だそう。我が国においても、自国の安全を自国が守るという現実的な安全保障に対する考え方が広く意識されるようになったと思われる。

一方、安心安全に関するデータとして世界の「人口1人当たりの核シェルター普及率」がある。

スイス、イスラエル100%、ノルウエー98%、米国82%、ロシア78%、英国67%、シンガポール54%、日本0.02%

あまりにも我が国の普及率が低すぎる。ミサイル防衛を含めて、地下鉄駅の利用など自治体が取り組む課題でもあると思う。

当協議会が普及率向上をテーマとして取り上げ、文京区が具体的な検討を開始・推進するよう促すのはいかがであろうか。